



ストレンジャー・ザン・パラダイス



CINEMA 試写室

いろいろどりの若葉の季節

淀川 長治

〈映画評論家〉

新開地復興運動で来る五月十日には新開地の映画館で私はシンカイチの講演をすることになる。KOBECの読者さんは一人でも多く聞きに来ていただきたい。いっぽう西洋活動写真上陸第一歩が神戸、この記念碑がポートアイランド公園に建つというこれも来年五月完成という嬉しさ、神戸はファイトを見せて、たのもし。

×

映画のほうは、アメリカ映画「ストレンジャー・ザン・パラダイス」(一九八四年作、モノクロ、一時間半)が面白い。

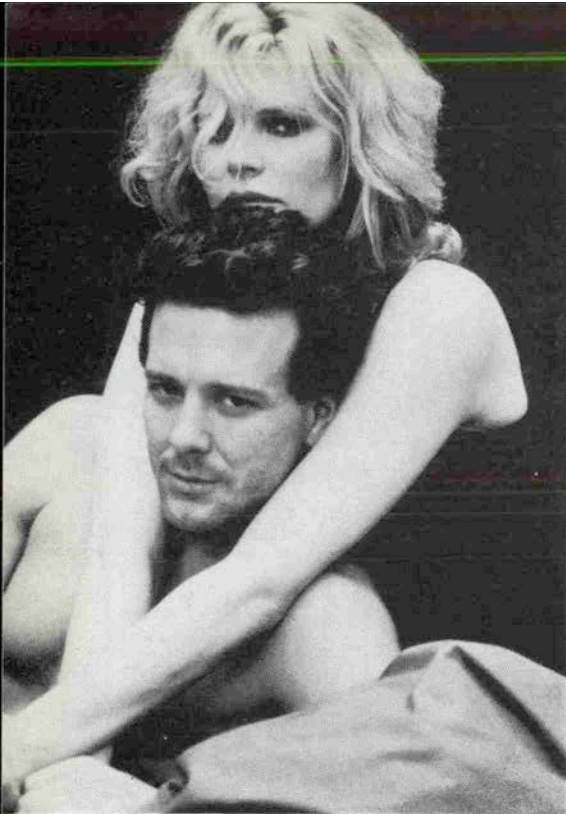
素人映画のようなその素人らしい新鮮さが目にしみる。しかし中味は凄いくろおと。

大正九年(一九二〇年)ごろ神戸のキネマ倶楽部で大正活映の「アマチュア倶楽部」と「葛飾砂子」を見た時、もその新鮮さに驚いた。谷崎潤一郎がシナリオに参加した大正活映作品だった。もともと鏡花の「葛飾砂子」は監督の栗原喜三郎自身が脚色に当たったことである。

アメリカでは「パワリイ25時」という記録映画と「アメリカの影」という劇映画にたまらない新鮮さを見た。もう三十年以上もまえのことである。フランス映画のゴダールの「勝手にしやがれ」(一九五九)もその出来上りは実に新鮮だった。この新鮮さをスーベルヴァーグなどと呼んで騒ぐのはたから見ると大人気ないが、映画はなにか科学が新科学を発見すると同じく、新しさに映画進歩を発見した気になる。

「ストレンジャー・ザン・パラダイス」はハンガリーの十六歳の女の子がアメリカのクリーヴランドの伯母を訪ねる映画。その道中でニューヨークのいとこの家に泊り、そのいとこのこれも二十歳あまりの男とその男の友だちとのニューヨーク十日間スケッチと今度はこの三人がクリーヴランドからフロリダへ行く。その道中スケッチ。

ニューヨークとクリーヴランドとフロリダの、いわばパート三部にわかれたスケッチ・スタイル。素人が16ミ



アメリカ映画「ナイン・ハーフ」(1985)より

りでとっているように、ぐんぐん引きつけてゆく。ときどき画面をまっくらにして五秒六秒。これがこの映画の呼吸を示す。めくる日記のつぎの頁への感じをよく感じさせる。男二人女一人のこの青春、映画の中のラヴ・シーンのごときものは一度も見えたことがない、エロもセックスもない、それでこの三人の若さを私たちに身にしみこませさせる。

脚本と監督はジム・ジャームッシュ。若者の一人は音楽の方では知られたジョン・ルーリー。日本に二度来ている。

×

同じアメリカ映画の「ナイン・ハーフ」(一九八五)はミッキー・ローク主演映画。「イヤ・オブ・ザ・ドラゴン」(一九八五)で好きと嫌いのまっぴたつに別れた新人の主演映画だ。私はミッキー・ロークは好きにはなれない。けれどこの好きになれないという点が、ときに効く。ヴァレンチノの初登場も好きと嫌いにわかれたものである。男子ファンは総スカン、女性ファンはためいき新人。ロークにもその匂いあり。原名「九週間半」。場所ニューヨーク。時は現代。男と女が逢った。男は金の売買

人。女は画廊勤め。女は離婚したばかり。この二人。ひと目惚れ。女が男の誘いにこわごわ応じる一週間。もちろん逢った日に二人は肌をゆるす。二週間目、男が女に目かくしさせる。三週間目、男が女に男装させる。四週間目、男が女に犬になれという、這って床のものを口でくわえろと命じる。というこの九週間半がいかなるENDを画面で見せるか。女はキム・ペイシンジャー。「ナチュラル」に出ていた。監督が「ブラッッシュ・ダンス」のエイドリアン・ラインゆえ、あくどい演出はしていないが、見るからにミッキー・ローク売り出しの野心映画とわかる。

×

ことしの東京は二度三度と雪にいじめられた。それでも梅も見事に、やがて今日あたりは桜がつぼみをふくらませてきた。今日は三月三十一日。この二日まえ、お久しぶりで赤坂で谷崎潤一郎先生の未亡人の松子さんとお逢いした。松子さんとお逢いすると、いつも神戸大阪の話しになる。神戸べん、大阪べんになる。

おとしはうかがわぬが、もはや八十をこえられたと思う。やせて小さくなられ、きれいな和服で、話し合っているうちに涙をこぼされた。神戸への想い、大阪への懐しさが、嬉しく、それらへの郷愁の涙と思えた。

同席の高島達四郎画伯の未亡人がその松子さんをいとしんで、このおふたりが赤坂のおとなり同士で、私はこの東と西のお育ちのおふたりに見とれたが、高島未亡人はもうすぐロンドンの息子さんに逢いにゆくと、いうお元気さだった。

別れるとき、今度は、松子さんがほんとうに泣かれた。美しいひと、いとしいひと。

KOBE MODERN CULTURE



美術

★地球最後の遊牧民

WODABE 写真展

4月12日(土)～5月25日(日) 神戸市立博物館 一般500円、高大生400円、小中生300円

アフリカ中西部に広がるサハラ砂漠。人の文明に未だ染まることない壮大なこの地で生活している「ワダベ族」。彼らは現在でも厳しい自然の中で牛や羊を放牧し、牧草を求めて、数百kmを遊牧している。そして一年に一度、雨季を迎えると彼らのエネルギーは堰を切ったように爆発し、10日間におよぶ祭りが行われる。



「ワダベ族」

アメリカの女流写真真家で京都で日本画を学んだキヤロル・ベックウイズが、18カ月にわたるワダベの遊牧生活から捉えた写真を紹介。自然と人間との飾りのない関わりが、新鮮にそして強烈に伝わってくる。



演劇

★アルブレヒト・ローゼ

ドイツ人形劇の伝統

5月8日(木)18時半 ビッコシアター 一般2500円、中・高生2000円、当日各料共3000円増

日本では人形劇は子供たちの楽しむもの、とされているが海外では既にひとつの演劇として認められていくようである。



「夜の美女」

アルブレヒト・ローゼルは人形彫刻の世界の可能性に心ひかれ、あれこれ試作するうちに「道化グスタフ」が誕生する。鏡の前で、友人たちの前で、そして観客の前でグスタフと他の人形たちは動き、様々な性格を表わしていく。

人形という生きていないものを用いながら、短時間の内に生命あるものに変えてしまう技術と芸術的表現が彼の名舞台を作っている
★コメディ・ド・フウゲツ 毒薬と老嫁

5月27日(火)～6月1日(日) 元町 風月堂ホール 2800円

世はまさに殺人狂時代。ニューヨークの閑静な高級住宅街を舞台に、愛嬌たっぷり、カワイイお婆ちゃん



小林宏司

小倉啓子

道。凶悪非道。殺人合戦。アメリカン・ユーマニアに溢れた今世紀最高と呼ばれるサスペンス・コメディの傑作。

作・J・ケツセルリング
演出・夏目俊二、出演・小倉啓子、松原朱鞠、小林宏司ほか。
★この公演のチケットを10名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記、神戸っ子「劇団神戸」係へ。

★国立モスクワボリシヨイ 舞台サーカス

5月3日(祝)4日(日)11時・14時・17時 アルカイックホール 大人2500円、小人1500円

ワクワクするような楽しさ満載のサーカス。世界でも内容、規模ともにトップレベルを誇るソ連に東独・ブルガリア・チェコ・ハン



音楽

★ニューヨークのためいき

ヘレン・メリル

5月23日(金)18時半 神戸国際会館 3300円

ヘレン・メリルといえば「ユード・ビー・ソー・ナイス」(帰ってこれればうれしいわ)のメロディが浮かぶ。テレビコマーシャルで流されたこともあるので、若い層にも馴染み深い。20年以上のキャリアをもつベテラン・シンガー。あまり声量で聞かせるタイプではないが、ハスキーな甘い声質で聞く者を魅惑する。



サーカスの華

容でショーアップされた舞台サーカスは大いに盛り上がるだろう。

そして彼女独自のブルース・フィリリング。幼い頃からの黒人ジャズメンたちとの交流と、ニューヨーク生まれの都会人の洗練されたセンスから創られたものだ



ヘレン・メリル

ろ。

一九六七年から五年間日

本で暮らしたこともあるだけに、日本語もうまく、日本への関心も理解も深い。それだけに日本の観客とのふれあいも大きいだろう。前述の曲の他スタンダード曲が並び、



映画

★筒井康隆原作「スタア」

5月23日より三宮新アサヒにて上映
大人1100円(当日1300円)



ブラックユーモアの渦

ファンである内藤誠がメガホンをとり、いよいよ映画化された。

スタア同志の二人(水沢アキ、原田大二郎)が結婚



音楽

★ザルツブルグ・カメラータ・アカデミカ

8日(木)19時 神戸文化大ホール
S5000円(会員4500円)
A4300円(3800円) B3500円(3000円)
★フランス歌曲のタベ
バリトン・ジェラルド・スゼー
ピアノ・タルトン・ポールドウィ



古典芸能

★世界平和への道
藤倉雄峰・笛一筆は語る
28日(水)12時半 神戸文化小ホール
3000円(会員2700円)



映画

★市民映画劇場「カルメン」
22日(木)23日(金)18時半 24日(土)14時 神戸文化小ホール 800円

★天使のフルート・ベルディン・スピンベルグ
22日(木)19時 神戸文化大ホール
S4000円 A3000円 B



演劇

★劇団そら群「ヒトガタ抄」
10日(土)11日(日)17日(土)18日(日)24日(土)25日(日)31日(土)6月1日(日)19時 アートガレージ

★青年座公演「地の乳房」
22日(木)23日(金)24日(土)18時15分 25日(日)13時半 神戸文化小ホール 3000円

★劇団花伝ツア第6回公演
「ツリグエクスプレス」
4日(日)13時半 神戸文化小ホール 1300円(当日1500円)

★地人会公演
「ピエロ!生命...燃えつきて!!」
5日(祝)18時 神戸文化大ホール
S5000円 A4000円 B3000円 C2500円



美術

★大丸美術館
ヨーロッパアンティークガラス展
5/11・15/6

彼らの新居開きのパーティに招かれた。評論家、作曲家、芸能記者たちのパーティで次々に起こる超SF的現象。筒井康隆自らが演じる犬神博士がボルテージを極限にまで高め、常識を吹き飛ばす。

ブラックユーモアといったこの映画、理屈抜きでお楽しみ下さい。

★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者はハガキに住所氏名を明記 神戸子「新アサヒ」係へ。5月5日締切

村田晴彦京都風景展 5/8・15/20/13

加藤孝俊作陶展 5/15/20/13

★ギョウリイオパジェ 5/22/27

佐々木麻衣新作展 5/27

★サンバル市民ギョウリイ 5/10/15/17

丸木位里・俊展「シルクロードを描く中国の旅」 5/2/15/17

あゝの会展 5/3/15/17

「第13回こうべ市民美術展」入賞者特別展 5/16/21

松野真理個展「白い裸婦たち」 5/23/28

★県民アートギョウリイ 5/23/28

第12回水島美術展 5/3/15/28

第28回兵庫県美術家同盟公募展 5/14/19

★そごう美術館 5/14/19

森美子・水森亜土親子展 5/1/7

現代日本画秀作展 5/1/7

備前焼大饗宴・猛父子展 5/10/15/17

はるか彼方にー岡野浩二油彩展 5/21

★そごうギョウリイ 5/23/28

版画の中の猫たち展 5/1/7

岸沢鉄介・棟方志功小品展 5/14

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

OPEN

★十字屋洋服店が ゆとりの新装オープン

元町の十字屋洋服店が、
4月6日、リフレッシュオ
ーブン。正面、山型の入り
口のプレートは、小磯良平
画伯のデザイン。
元町の老舗のイメージを



新装オープンの十字屋洋服店

残しながら現代的感覚を取
り入れた店づくり。
木の温もりを感じさせる
店内は、ゆったりとした空
間が取られ、神戸らしい贅
沢さといえる。

サロン感覚でくつろぎな
がら、ダンディーなお洒落
を楽しんでもらいたいと語
る店主の武田さん。

■中央区元町通5-4-13
電話 341-10219

SWEETS FAIR

★北野ラインの館で 神戸洋菓子まつり

3月16日〜23日の8日間
北野町のラインの館の2階
展示室で神戸市と兵庫県洋
菓子組合主催の「神戸洋菓
子まつり」が開催された。
大デコレーションケーキ
を中心に1月から12月まで
の年間歳時をテーマに作ら
れた工芸菓子が展示され、



KOBEスイーツカレンダー

ユーハイムや風月堂、ドン
ク、洋菓子のヒロタ、ユー
ハイムコンフェクトなどお
馴染みの会社からの出品作
品が華やかに雰囲気を感じ
上げた。市民から一般募集
した自慢の手づくり洋菓子
も展示された。



OPEN

★おもちゃのカメヤが おしゃれにリフレッシュ

スマイルアブルのマーク
でおなじみの、おもちゃの
カメヤの元町一番街のお店
が、パーソナルギフトグッ
ズのお店としてリフレッシ
ュオープン。
札幌、東京、神戸にしか
置いていないという新感覚



新装カメヤ

COLLECTION

★リザ・サロンオープン10 周年ファッションショー

3月14日から3日間、セ
ンタープラザ3F、リザ・
サロン本店で、オープン10
周年記念のファッション・
ショーが開催された。
「スプリング・アーリー

サマー・コレクション」を
メインテーマに、ジェルビ
ナやジン・アメなどのブラ
ンドが紹介された。春らし
い色使いのスーツやジャケ
ットの数々。オーソドックス
の中にも新しいラインが
配慮されている。

夏にむけてのファッショ
ンは、やはり原色が目立つ



デニムのカジュアルウェアも

中、緑系統が新鮮。白や水
玉のワンピースも清涼感あ
ふれ、いかにもアーリーサ
マー風だ。
ラストのフオーマルドレ
スは、昨年に引き続き、白
と黒が中心。シックでエレ
ガントなスタイルがいかに
もリザらしく、10周年の重
みを感じさせた。

のグッズをはじめ、毎月カ
メヤ独自のテーマに合わせ
たディスプレイで、いろい
ろなギフト提案をしていき
たいとのこと。
ときめく心を贈るお手伝
いを目指す新ショップで、
あなたらしさを表現してみ
ませんか。

■元町本店/元町1番街391
・0768
■元町店/元町三丁目331・
0090

■さんちか店/ホ
ム&ライフ391
・4045
■三宮店/センタ
ープラザ331・4
969
■サンこうべ店/神
戸駅前地下街35
1・6002
■須磨パティオ店/
792・4688



CONTEST

●第5回神戸ベストドレッサーズ大賞 Ms.お洒落コンテスト

3月23日夜、神戸外国倶楽部で、ファッションパーク主催の第5回神戸ベストドレッサーズ大賞「Ms. お洒落コンテスト」の最終審査が行われた。

512名の応募者の中から最終審査に残ったのはミス・ミセスとりまぜて12名。最優秀賞にはJALからハワイ旅行パーティファッションも提供されるというから応募者のファッションセンスもより一層磨きがかかったおすぎとピー子、森瑤子、おおくぼひさこ等審査員の厳しい目でチェックされ、栄えある最優秀賞には東大阪市の専門学校生・増家雄子さん(18)が輝いた。またベストドレッサーズ大賞は三田の家代岡さんに決定した。

PEOPLE <44>



●温かい交流をもてる時が最高です 有浦 喬さん〈プレザーショップ〉 MAC店長

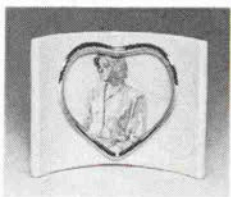
学生時代からMACでアルバイトを続け、大学卒業後一時他社へ就職したもののやはりMACと縁が切れず入社して今年で18年。プレザーショップ店長を務めて6年目になる。「学生時代からMACのファンの方がぐっとおしゃれになった時など本当にうれしいですねえ。」と語る口調にも温かみを感じられる。趣味は溪流つり。吉野や京北に足を運ぶとのこと。

TOPICS

●神戸オリエンタルホテルで6月6日(金)にMIEのデイナーショーが開催される。1部デイナーは17時、2部デイナーは18時15分から。2部デイナーは20時20分開始。料金はショー制で行なわれる。料金はショー、デイナー、フリードリンク、サービス込みで各一人¥23,000となっており、デイナーショーに宿泊プランでは一人¥30,000となっている。ご予約・お問合せは、神戸オリエンタルホテル宴会予約係(078)331-8111まで。

●つるや衣業店は6月1日、AM10:00~PM5:00までポートアイランドの国際展示場で「御婚衣裳大展示会」を開催する。総検校の打掛を始めとする予華な衣裳、ポर्टビエホテル内のピアンカスボーズでおなじみの華麗なウェディングドレスが一同に展示される。今秋、来春等式予定の方には見逃せない展示会となりそう。問い合わせは、0321-100360まで。

●シリーズの総合メーカーの「カンパニー」から素敵なファッションサンダールリンが好評発売中。自然素材を大切にしたいこのサンダールはデザイン、カラーも豊富に取り揃っておりお値段も手頃。この夏、貴女の足もはキラッと輝きます。お求めはカルゾー、エスベランなどのお近くのシューズショップでマリアリンのサンダールとご用命ください。



●ミキモトより フォトスタンドを

真珠のミキモトより、陶器製ホワイトのフォトスタンドを5名様にプレゼントします。半円形になっており、写真の見える部分がハート型で、金色のフチどりが素敵。結婚記念写真などを入れてみてはいかが? 受け取りは神戸っ子編集室まで。



●MACより マグカップを

MACより、オリジナルのマグカップを今回は5名様にプレゼント。色はアイボリーの地に茶色でかわいいカップルのイラスト入り。モーニングコーヒークップに最適です。ペアで揃えても楽しい。商品の受け取りは神戸っ子編集室までどうぞ。

PRESENT CORNER

●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113-1大神戸ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係まで応募下さい。5月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送、葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

アートの心 遊び心を持って ファッション創りを

講師 米谷玲子

＜学校法人横田学園
神戸服飾専門学校校長＞



KFS 3月のマンスリーサロンは、3月25日、市立勤労会館で、講師に学校法人横田学園神戸服装専門学校校長米谷玲子さんを迎えて開かれました

米谷先生は、学校経営者あるいはトップ指導者としてだけでなく、日本デザイナー協会(NDK)、コウベファッションクリエイター(KFC)に所属するデザイナーとしても活躍し、まさにファッション界を“創る”にふさわしい女性です。先生の考えるファッションクリエイトを中心に、テーマ“創る”を語っていただきました。

「私達デザインに携わる人間にとつて、『創る』という言葉は、欠かせません。“ものを創る”とか、“クリエイション”というのは、深い意味で生活そのものをいうのであり、人生の縮図をあらわしているのかもしれない。何もないところから形にするのが、創

るということです。もちろん、努力なしでは不可能であり、また、創るというのは、喜びの道にもつながります。ファッション、具体的に服創りの場合は、特にそうです。形で表現することができ、すぐに実用的に結びつく、やりがいという言葉にも置き替えることができます。とりわけ、ファッションの“創る。には、華やかなイメージがつきまとうのですが、逆に、かげの地道な努力、忍耐、積み重ねも大いに必要になってきます。きらびやかな“ファッション”という言葉の過程には、特に地道さを欠かすことができません。私は、トップ教育者となるまでの下積み時代が長く、デザイナーとしても、戦後のファッションとともに歩んで来たといえます。東京ドレメ時代に厳しく教えられた服創りは、今もなお私に、妥協しない服創りを示してく

れ、物創りに大切な指導者の役割を、充分に考えさせてくれます。現在では、生徒達の個性を伸ばしてやりながら、厳しく指導し、時代にあったシャープさ、鋭い感覚を磨いてやることを私の“創る”に対する答として実行しています。物創りには、何であれ、しっかりとした信念、思想を持たなければ、その創造物が、人を魅了することのできるものには完成いたしません。また、アートの心、芸術性を持って、物を創るともいいますが、ビジネスをアートに引き上げるだけのものを創り上げなくては、感銘を与える事を成し得ません。すべての物創りにおいて、水準技術が高い日本人です。あとは、ファッションに必要な遊び心を日本の外に出て、離れた立場で認識すること、また、日本古来の美を再認識するだけです。精神からの変化と、忍耐強さで、自分たちの域を超えたクリエイティブな創造物が生まれるのですから」

神戸ファッション研究所 設立基金募集中!

—恒例野外研修—

ワイン城見学と神戸ビーフを楽しむ

日時 5月11日(日) P: M12:00

場所 西区押部谷農業公園ワイン城 会費 ¥3,000

ご参加ご希望の方は、月刊神戸っ子山根まで

☎331-2246

びっと・いん



★大阪ビジネスパークにしむら珈琲オープン

神戸の香り、宮水珈琲で有名なにしむら珈琲店が大阪ビジネスパークのパークアベニューに面した「ツイン21」の正面玄関に4月1日オープンした。地上38階



O.B.P. 店内で川瀬喜代子社長

高さ150mの超高層ビルで大阪城が箱庭のように見えるツイン21は松下グループのオフィスビルで、にしむら珈琲も大理石と皮張りの椅子が格調高く、オープン以來大盛況だ。中央の円柱の周囲は川瀬喜代子社長の考案で見事な生花が飾られ、寛ぐ人々の目を和ませている。

■神戸にしむら珈琲O.B.P.店/ツイン21 階 06-947-5033 8AM-10PM 無休

★エキゾチックな伝統の味

モロッコ生まれのシェフエルマレ・サイモンさんがモロッコ料理店「マラケツシュ」をオープンした。マラケツシュはサイモン

さんのお母さんの故郷。新鮮な素材なるべく自然な味で伝えたいというサイモンさん。スパイスとハーブ



サイモンさん一家

の使い方がおもしろいさのキーになっている。味つけは特に日本人向けに変えてないそうだが、意外にモロッコ料理は日本人の舌に合う。炭焼きプロシエツト、タジン、クスクスなどモロッコ

の伝統料理が楽しめる。

■中央区中山手通1-20-15メゾンD山手B1 06-241-3440月曜休5PM-12PM(土・日のみランチあり) ディナーコース3千円より

★ラウンジクリスタルで

カラオケ同好会発足

楽しく唄い、語らい、会員相互の親睦を図る、という目的で発足したクリスタルカラオケ同好会。ラウンジクリスタルにて毎月第二



カラオケのレッスン風景

木曜(もしくは第四土曜)

の午後五時半から約二時間プロの講師を招いて行なわれるこのレッスンは。クリスタルが場所を提供するという形で、お客さんが中心になって始められた。会費は月額三千円で、会員になれば、月一回のレッスンの日の飲食代は無料の他、オールタイム飲食代が三千円、カラオケ・カセット練習が無料という特典がある。

詳しくは、クリスタルの

柿田マネージャーまで。

□ラウンジクリスタル 中央区北長狭通二丁目タイシサンセットビル6F 06-332-2751

●神戸うまいもん
とドリンキング

北海道郷土料理
蝦夷(えぞ)

中央区中山手通1-4-13東門会館1F 06-331-7770 17:30-23:30 日祝休

壁に張りつけた熊の剥製アイヌ夫婦の一刀彫など北海道のムードがいっぱい。



北海道ムードが満点

開店15年になる蝦夷は、北海道の本物の味の店。この店でしか飲めない余市ワインにはルイベ地酒・千歳鶴には珍味各種、ビールにはジャガタート、酒と料理の絶妙なアンサンブルが楽しめる。

毛蟹五十八千円、石狩鍋千八百円、ルイベ千五百円、帆立貝千円、焼魚(鮭、鰯、水揚げ)八百円、千円、余市ワイン(ボトル)三千円、千歳鶴六百円、ビール七百円

ボケット ジャーナル



★豪・ブリスベーン市と 姉妹都市宣言

神戸市とオーストラリアのブリスベーン市の姉妹都市提携宣言書調印式が、三月三十一日、相楽園会館で行なわれた。



市旗の交換をする両市長

ブリスベーン市は、人口約七十三万人のオーストラリア第三の都市で、神戸市にとっては六番目の姉妹都市となる。

式では、サリアン・アートキンソンブリスベーン市長宮崎辰雄神戸市長をはじめ両市の関係者が多数出席。署名のあと市旗の交換もあった。

これからは、太平洋をはさんだ両市の間で、貿易・観光とより多くの交歓を希望したい。

★由縁の芦屋川沿いに

谷崎潤一郎文学碑建立

文豪谷崎潤一郎氏の生誕百年を記念して由縁の深い芦屋川沿いに「細雪」の文学碑が建立され、4月6日除幕式が催された。

芦屋文化協議会々長の辻本勇氏らが中心となって昨年実行委員会が結成され、津高和一画伯が造型し、「細雪」の碑文は谷崎松子夫人が、説明文は故足立巻一氏



碑の前で花束を受ける高橋百子

永精一郎市長と辻本勇氏、谷崎潤一郎の孫にあたる高橋百子さんによるテープカットや、芦屋市在住で谷崎

作品とは縁のある女優吉沢京子さんが細雪の一節を朗読するなど約三百名の来賓

が集まって華やかに除幕式が催された。

★小磯画伯が薬師寺展に

描き下ろしの三点を

この秋、奈良の薬師寺（高田好胤管長）が、天武天皇御忌一三〇〇年を記念して薬師寺展が全国各地で開かれる。その記念行事の一環として現在日本にお



絵を渡す小磯画伯

る画壇の最高峰に描き下ろしの絵を依頼し、併

設展を開く。

神戸の地元小磯良平画伯も依頼を受け、ここ数年依頼された絵は描かれなかつた小磯画伯が三点を制作。

三月二十六日に薬師寺の安田嘆風事務局長が御影の御自宅へ絵を受けとり、「小磯先生の絵が一番に出来上り、二十五日には神楽石野証券の石野惇子夫人が、ご主人とご子息の法養とご写経に当寺へいらつしやって望月美佐一門の書かれた法華経九巻を奉納なさった日で、神戸とご縁があると喜んでいきます」と語っていた

★淀川長治さん

川喜多賞受賞

本誌でおなじみの淀川長

誕生日
ありがとう
運動



古切手に「襦袢の旅」をあなたの家庭や職場で古切手が（使用済の日本、外国のどんな切手でも結構です。捨てられていますか。）

古切手の周囲約一センチほど残して切りとって、本運動に送っていただけませんか。
本運動では、この古切手を、主編ボランティアによって種類毎に分け、一部の切手は、台紙からはがします。このはがした古切手をさらにテーマ毎に分類して、台紙につめさせて古切手シートにしあげます。古切手シートは、バザーなどで販売し、この運動の啓発資金になります。



こうして、あなたがいちで、この運動に寄せられた古切手は、多くの人のたのしみでながえいかされます。

みなさん、きょうからは、今までになく捨てられていた古切手に新しいいのちを与え「襦袢の旅」をさせてください。
本運動へお送りいただく場合は、お手数ながら、あなたの住所氏名を書いておいてください。折り返し、お札のカードと本運動発行のちえおくれの問題の啓発紙を送ります。
みなさんのご協力を願っています。

誕生日より

61神戸市中央区御幸通八十一六
神戸国際会館一階の郵便局の隣
番〇七八二二二一四

治さん（映画評論家77歳）が
永年の映画評論に対して川
喜多賞を受賞。



川喜多長政さんの喜びも大きく、身地の神戸に賞金百万円を寄附した。五月十一日に映画発祥の地神戸に記念碑を建てる会の発会式があり、その時点で同会への寄附がなされる予定。又、五月十日は新開地商店連合会新開地周辺街づくり協議会が主催し、東映劇場で午後六時より淀川さんの講演会が開かれる。当会には講演料五〇万円を寄附される。

★神戸を舞台にNHKから「風を愛して」
5月5日（月）から始まる、NHKの銀河テレビ小説「風を愛して」神戸を舞台に繰り上げられる笑いと涙を満載した、痛快ネアカドラマ。

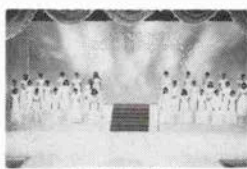


主演の堀ふみと近藤正臣

北野町など神戸市内でのロケーションも順調に終えて、あとは放送を待つだけ。脚本は北村篤子、主演に堀ふみと近藤正臣。貴方の知った風景が、画面で観られるかも…。

★真珠の神秘さを備えたパールプリンセス募集
日本真珠振興会では、海外への真珠のPRや国際親善、国内の真珠キャンペーンに活躍する「パールプリンセス」を募集している。

代表パールプリンセス（一名）には賞金五十万円乗用車、アメリカ往復航空券が、パールプリンセス（二名）には賞金三十万円が贈られる。その他、真珠のネックレスや協賛社副賞もたっぷり。今年で六回目を迎える、ますます内容も充実してきた。



昨年の審査風景

応募要領は次のとおり。
■応募期間 五月十日（土）必着
■申し込み 所定の申し込み用紙か履歴書に特記事項を明記し、正面上半身と全身の写真（手札サイズ）を添えて郵送または持参
■応募・問い合わせ 〒650神戸市中央区東町一丁目二二 日本真珠振興会パールプリンセス実行委員会 電話078-（33）4031まで

★永遠と愛と旅人と…
日仏二人展

パリ生れで一九七〇年に来日以來、大阪の泉佐野にもアトリエを持つフランス人画家マークエステルさんと、兵庫県生れで一九七五年以來パリに住みヨーロッパ各地



マークエステル 山下 博
パルスを歩いて絵を描く山下博の展覧会が、五月十一日（土）の神戸まつり期間中に、神戸ポートアイランド市民広場にある「画廊ポルティコ」電話078-302-5400において神戸日仏協会の主催で開かれる。

山下さんは「ルネッサンス美術に誘われて西洋の道を通った日本人画家と、東洋の神秘に魅せられて日本人画家と、偶然に神戸で出会ったのは運命の仕業」と。永遠と愛と旅人と。のテーマで東と西が出会う。

★神戸二紀

少年鑑別所に絵を寄贈
神戸少年鑑別所に絵をプレゼントした、二紀会の画家たちと、婦人絵画グループ

図書ガイド



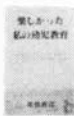
再婚
川名紀美

離婚問題をとりあげた著書は多いが、その後である再婚問題に触れたものは少ない。朝日新聞大阪本社社会部記者の筆者が23歳の再婚した家族取材してまとめあげた貴重な記録である。全て実名で写真つきで紹介されているのは筆者の努力も伺えらるが、今後夫婦のあり方についても大変興味深く読むことができる。朝日新聞社 ￥1200V



「風ありて」
伊都子短章
岡部伊都子
小山三郎
新宮 晋

数ある岡部伊都子のエッセイの中から小山三郎が選び、新宮晋が絵・装丁を受け持ち、いわば三者の感性が一つになって生まれた本やさしい言葉、短い文章の中に人間への愛、自然へのいつくしみ、ときには生きることの孤独、平和への願いが込められている。やさしさとゆさの表裏一体。選びよう整えようその方の思いが光を帯びて心に映ったのである。創元社 一九〇〇円V



楽しかった
私の幼児教育
佐伯 民江

国際感覚豊かな日本人に、とわが子二人を外国人学校に通わせながら、子供と共に勉強した母親の体験記。英語学習の苦労話や外国人学校のユニークな学校生活、母親同士の交際ぶりなどが紹介された。著者は現在、神戸市中川区在住。 九八〇円V

ブ彩雲会のメンバーに、3

月29日、同鑑別所の有延昭所長から感謝状が贈られた。昨秋、新築されたばかりの同鑑別所は、コンクリート造りでどうしても冷たい雰囲気。そこで「少しでも



感謝状を受ける高崎さんを…

温かみを感じて、

長の中川浩安宝地院住職と教師の個和穂祇園神社宮司の力添えにより、絵の寄贈がなかった。

花時計



大いなる計画

五月になると「あじさい」が花をつけ、神戸の街は水色に染まる。そして街の緑と融けあって、新緑の神戸はすばらしい。

あわただしく時は移るが、自然はいつがも物静かに変化する。

神戸でポートピア'81が

「作品を見てもらって、

気の沈んでいる少年たちが少しでも力強く生きる望みがあれば」と、二紀会兵庫支部事務局長の高崎研一郎さん。

この思い、少年たちにも伝わればいいのだが…。

★ブルーメール賞受賞者

石川晴久油絵展開催

小誌第十五回ブルーメール賞の美術部門を受賞した

洋画家の石川晴久さんが、三宮のギャラリーさんちかて個展を開いた。

三月二十七日～四月一日まで、イマイ画廊主催「昨日、今日、明日」と題されたこの個展では、昭和四十

開かれて既に五年を経過した。あまり知られていないが、ポートピアが開かれると同時に、一方では、神戸はコンベンション都市としてスタートを切っていた。

ホテル、国際展示場や国際会議場は博覧会の開催期間中はフル稼働をしていたのである。

そして、博覧会のあとこれらの諸施設はコンベンション都市神戸の主役となって登場することになる。

その後、ワールド記念

二年から昨年までの作品二十三点が展示された。

「この個展が一つの節



作品の前で石川さん

目。これから原点到に戻り、作品に自分の人生を投影できれば…。

描くことは理屈じゃないので、一枚でも多くの作品を描き続けたい」と語る。

石川さんの絵は見る人の心にゆっくりと浸透していく。これからも多くの作品を残していくて欲しい。

ホール(アリーナ、一万人収容)が完成して、圧倒的な力を持つことになった。全国でコンベンション都市を目指している都市は多いが神戸はポートアイランドに集中して施設を持つている点で最も有利とされている。

昨年のコンベンション大小併せて百七十を超える。施設がなかった頃は殆んど皆無に近かったのである。刮目に値することではないか。

△Y△

KOBE POST

★千里万博公園にある国立国際美術館館長小倉忠夫さんが、四月付で京都国立近代美術館館長に転任。新館長は文化庁より三木多聞さんが国立国際美術館館長に就任された。★神戸文化ホールの新館長に、神戸婦人団体協議会事務局長の妹尾美智子さんが、兼任のスタイルで新任。北嶋元館長は、神戸市文化振興財団の常務理事に四月一日付で就任された。

★生田神社の福田義文宮司が退官され、四月より加藤隆久新宮司の誕生です。

★鳥京子編による「黎明の女たち」の出版記念のついでが、四月二十五日午後四時～六時に、兵庫県教育会館で開かれました。

★神戸フィルハーモニーの常任指揮者朝比奈千足さんは、九年間に亘って指揮を執った大阪フィルハーモニー交響楽団を退任、フリー指揮者として活躍されます。マネージはミリオコンサート協会(〒105東京都港区西新橋1-10-18)第2森ビル館03-501-56638・56639

★大阪経済大学の小室豊允経済学部教授が、この程「使用者概念と労働者派遣」を上梓されました。(¥2500円)

★現代美術の植松奎二さんの新住所は〒652西宮市川東町5-20-403番078(35)9186です。

★兵庫県商工新観光課長兼企画部企画参事に吉村猛氏が着任されました。

★月刊神戸っ子サンパチムのリーダーとして活躍していた川上正恒さんが、川上隆寛と改名されました。〒650中央区山本通4丁目16-15

★彫金家の藤田ジュリオさんが、中尾啓子さんと五月十日芦屋カトリック教会で挙式。ご結婚おめでとうございます。

★ベニー毛皮店の大島智恵さんが三月八日迄Oshima HARTUN GSTR. 14 2000 HANBURG 13 WESTGERMANY Tel (040) 443239

人との出会い大切に

望 月 美 佐

大 谷 晃 世
 <女流書家>
 <大谷徳風社社長>



書のきもの姿もあてやかな望月美佐さん



大 谷 社 長

——今月は書の世畜で「くらしの書」や「動の書」などで活躍されている望月美佐先生との出会いです。大谷 初めまして。先生の白地にひらがな文字の墨あとが美しい大胆なデザインとワインカラーの組み合わせはステキですね。

望月 ええ、きょうは五月にふさわしい装いをおもひましてね。

喪服のときは、きものと帯に「しのぶ」と書いて一味違うオリジナルデザインを創っているんです。

喪服のきもの姿やドレスは、黒で女性が美しく見えるときですから喪服のおしゃれというのは女にとっても大切なことですね。

アメリカへ行きました時に、私の書の白黒の濃淡の組み合わせのきものを俳優のグレゴリー・ペックさんがすごく喜んで下さって、

奥さまに着せたいといつて。プレゼントしましたが（笑）。

スイスへ「動の書」を持って行きましたときも、とても喜ばれてグラブ夫人も白と黒の組み合わせのきものを買っていただきました。それと、どういう訳か私の「書」は活気がでるし、人気が出るし、運が開けるし、お店が繁盛するんですよ（笑）。

それで、店名のロゴに使って下さったり、今は俳優や歌手の方々の楽屋のれんの依頼が多いんです。

山田五十鈴さん、美空ひばりさん、玉三郎さんとか五〇人ぐらい

書いて、ひばりさんなんか三枚目で、色々デザインを変えないといけませんから手帳につけて（笑）。

大谷 先生の書に対する「気力」が活気や人気につ

ながるんでしょね。私もぜひあやかりたい（笑）。

望月 私も十七歳で敗戦になって韓国から引き揚げて来ましたが「無」からのスタートでした。

今日の私があるのは「人とのいい出会い」だけなんです。いい人との一つ一つの出会いで今があるわけで、自分自身が好きで無心に書いている「書」を通しての出会いですから、人との出会いを大切にしていきたいですね。お金もうけないでものは紙切れですから、もうけてどうのこうのという気はまったくありませんね。もちろん生活できるぐらいの事は必要ですが……

大谷 そうですね。私の仕事にしましても、いい人との出会いいかなければと思っています。

望月 お金は自分の身体にかけることが大切で、書のお稽古でもそうですが、幼児の頃からお稽古ごとにお金をかけて、自分自身を鍛錬し磨いていけば、またそれが自分にもどつてくると思いますよ。

全葬連認定「葬祭専門士」資格取得者
 株式会社 大谷 徳風社
 代表取締役 大谷 晃世

全国葬祭事業協同組合

神戸葬祭事業協同組合理事

神戸市規格葬儀取扱指定店理事

本社／神戸市長田区松野通1-11-12

電話 078-621-0089
 鈴蘭台支店／電話 078-592-5485

三平の やぶにらみ見聞録

〈その7〉



小関 三平

(神戸女学院大学教授)

カメラ／池田年男

海と山に抱かれたミュージアム 県立近代美術館を訪ねて

一見したところ、神戸は、ゲイジユツ・ガクモンの影が薄い街にみえる。つい、京都とくらべるからかもしれない。

が、ガクモンはともかく、「近代美術」に坎んするかぎり、いささかの根がある。日本では、重要なセンターの一つだ。風景も、なかばは「洋風」である。

有名美術史家たちは、どの文献でもほとんど触れてないが、小磯良平翁より先輩の故・金山平三にしても、神



なかなかモダンな建物です

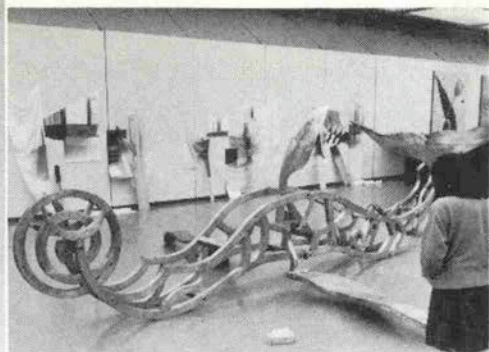
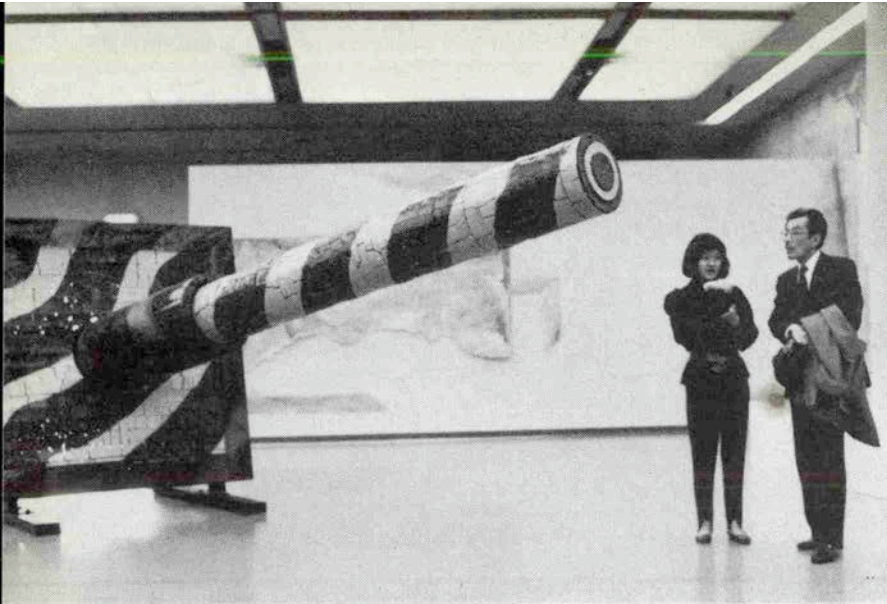
戸が生んだ、油彩・風景画の大先達だった。(私がことに親しみを感ずるのは、名前「平」と「三」のせいだけでなく、代表作「大石田の最上川」で、わが祖先代々墳墓の地を描いてくれた(?)からでもある)『兵庫県立近

代美術館」の誇りの一つは、「金山平三記念室」だが、わざわざ遠くから、訪ねてくる人もいる。

だが、「近・美」は、今や、「国際化」に向かって一歩を踏み出した。それも、日本の「現代美術」を海外に知らしめようとの意気込みである。今年一月、七年来姉妹提携してきた「スペイン国立美術館」での、「具体展」を皮切りに、ユーゴスラヴィアその他の諸外国に、日本近・現代美術を紹介しはじめ、ガゼン注目を浴びつつある。パリに居る私の甥(内藤昌平・日本広報文化センター館長)にも知らしてやりたい。とくに、近代以降の日本にあつてはもつとも前衛的な運動だったと言える。『具体』グループを、全国から集められた作品と記録フィルムで回顧し紹介する——というあたりがニクイ。

「近・美」は、「鎌倉美術館」に次いで生れた二番目の「県立」美術館だが、関西の新進にとつての登龍門——毎春の「アート・ナウ」でも、知られている。

たとえば、近頃はスイスその他でも知られた、青野卓司クン(夙川短大)にしても、ペニスが林立してるみたいな、だんだら模様のファイバー・アート作品を、何年か前に出品してた。(彼は、京芸大で私の単位を奪い取った、現在の球友である……あ、脱落。薩摩焼酎チ



ユー・チューリ
すぎて、酔っぱ
らったみたい、
ボクちゃん。ひ
とたび、左手に
酒・右手に筆を
取れば、「アル
チューで・ラン
ボー」になるの
でアールノ
今春の『アー

アート・ナウの会場は巨大な個性的実験ボックス

ト・ナウ」も、なかなか楽しかった。まるで遊園地である。階段をあがると、日本が誇る新宮晋の、いかにも彼らしい涼やかな小品が、軽やかに、風に舞っている。（私は、この幼馴染み・後輩を仰ぎ見ているのである。左を向けば、石原友明の、バカでかい愉快なコマが、鎮座してゐる。

ホールに入ると、これまたバカでかい磁石状・逆U字形の樹幹が、斜めに構えている。作者・ふじい忠一は、「木っ端の中で」育ち、奈良県工芸伝習所で学んだ本格派とみえる。木の強さ・素朴さにハッとさせる、しかも滋味に富んだ作だ。樹皮がほつれているのも、E。

かと思えば、黒い巨大な方形の怪人が二体、木の枝をたずさえて突っ立てるみたいな、金属立体もある——福田新之助作・『深海の帝王』ノ（ジャーリン）。

右奥には、赤・白だんだらの「ステン棒にしがみついた」ひび割れ陶器の、大砲が、こつちを向いている。糸を土に、タテをヨコに——というちがいがあがるが、一瞬かつての青野クンのファイバー・ペニス（？）を連想した。色彩とサイズでいちばん目立つのは、床を高く上げた東南アジア風家屋とも山車ともつかぬ作品（中西學）だろう。屋根には怪鳥が寝そべって下をのぞき、床下の土ではヘビがカマクビをもたげる——という感じで、子どもたちをよろこばせそう。

今年は、壁面を飾る絵が少なかったが、ただ一人のチヤキチャキ神戸っ子・三村逸子嬢が外国海図のプリントを地に、インク・水性絵具と墨汁を使った、ユニークな『架空の遊戯』を、出展している。

技法もおもしろいが、原始・渾沌未分のモチーフとみえ、無数の生き物が、大きな三枚セットの作品に、ウヨウヨうごめいている。女性の手になるせいか、線は柔かく細やかで、海と魚、そして「神に近い生命」の「素直」さが好き、と言う。

近づくると細部はフクザツすぎるが、白とグレイのブレ



深い造詣によって美術館を育てた小山前副館長

文人知事・坂本勝がつくらせた「近・美」は、開館十五周年を迎えた。彫刻・版画にとくに力を入れているがジャンルの別を超えたフェュージョン風のイベント（「美術劇場」シリーズ）でも、ギャラリイで古澤侑峯が日舞を踊って以来、先端を切ってきた。抽象画家・クレーの珍しい楽譜を発掘して、ヴィオラ奏者・前川澄夫（大フィル・篠山町在住）を柱に、絃のアンサンブルが、演奏したこともある。今年の「アート・ナウ」のフィナーレは、藤島啓子（ピアニスト）が、世界に名だたる前衛作曲家・ケイジによる「ヴァリエイションズ・3」の、6時間演奏で締めくくった。

ンドがベイスの、それぞれの画面中央をタテ・ヨコに走る、太くあざやかな曲線が、アクセントになっている。すべての作者名を挙げられないのは、申し訳ないし、こんな風に見えるのと、単なる遊園地みたいに誤解する人もあるかもしれないが、当然のことながら、苦楽半ばしたにちがいない、若さあふれる力作ぞろいである。

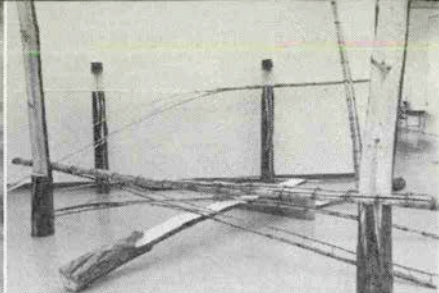
ハイテク・エイジは、その対極に、有機的なイメージを増殖させる。百年前のヨーロッパ世紀末もそうだった。ゲイジュツは、アイディアとテクニクによる一種のウソが勝負だが、もともと、自然の一部にすぎぬホモ・サピエンスの戯れであり、救いでもある。幼な児の新鮮な感受性を持ちつづけなければ、表わし手・味わい手のどちらも、楽しめはしない。

それにしても、ヘリクツでナリワイを立てる、ヤボな落ちこぼれガクシャたるわが眼に、ゲイジュツは、とりわけまぶしく映る、いわゆる現代美術なんか、十九世紀末から二十世紀二十年にかけての大胆な破壊と創造で、あらかた試みつくされた、と見る向きもあるが、人間の創造力は無限なんだなア……と、感じずにはおれない。骨だけみたいなシャカイガクなんか講じてる者がゲイジュツを語るなんて、テレくさくて、シラフではムリ。

ケイジ、ほよ？と、アラレちゃんみたいにつぶやいて、企画者の名を訊ねたら、若き才媛学芸員・山脇佐江子女史だった。彼女は、日本美術史出身だが、ダンナかつ同僚の山脇一夫氏は、フランス・南欧美術に通じた、三つ揃えをビシツときたダンディ（かつカラオケ・ファン）である。スペインとの交渉には彼があたったらしい。

ドイツ・北欧担当は、アンソールその他の版画に詳しい、いかにも篤実な学究タイプの中島徳博氏である。（なんでボクちゃんが、いま、薩摩焼酎でベロンベロンかとひと、彼が薩摩隼人であり、彼とのナレソメは、三宮ガール下の「金盃・森井商店」で、梅酎を酌み交して以来なのだが、四十に近いくせに、優雅な毒身生活をつづける。ケシカラン！）

だが、まだお会いしてないほかのスタッフも、新次長にして、さっそうたる夜の紳士・増田洋さんはじめ、多士済々である。前次長・小山泰三さんによると、八名の学芸員たちは、学園・師弟閥をいっさい排した構成に、なってるそうだが、異化のエネルギーを産むには、それがいい。これは、まだまだ「島国的」な裏面を捨て切れない日本美術界にあつては、意外に大切なことなのだ。



神戸出身の注目のアーティスト三村逸子さんと作品『架空の遊戯』(左)と宝塚市出身の郡山広明さんの『へそ』(右上)美術劇場のユニークな企画者山脇佐江子さん

(ダイガクは、さらにオクレてる。)

「近・美」のスケジュールは、来年の分もきまっているが、この4月12日からは「兵庫の美術家」(5月25日まで)を皮切りに、「ホッフニーのカメラ・ワーク展」(6月)、マドリッドで大喝采を博した「具体」回顧展(8月)、「セザンヌ展」(10・11月)その他とつづき、そして来春は、いよいよ、日本では珍らしい現代スペイン美術展・「バルセロナ賛歌―20世紀カタルニア美術」それに、阪神間ゆかりの「小出猶重生誕百年記念展」その他も、催される。(異人館とポルトピアしか関心がないみたいなの、アンノン族多数派もこういうものを観て帰るべきなのである。)

ただし、永年にわたってこのユニークな美術館の発展に、陰ながら尽くしてこられた、小山さんが、三月一杯で定年退職されたのを、惜しむ人は多い。小山さんには、今回初めてお話をうかがったが、長身・銀髪の上品な「実年」ダンディである。果の文化行政を支えてきた一人だけあって、お話は見識と含蓄に富み、切れ味も鋭い。この人には、マドリッドのパーティでスペイン語原稿を読みあげて拍手を浴びた逸話もある。(スペイン語への関心が、日本では少なすぎることを、私は嘆く。)

だが、小山さんには、来年開館の「横浜市立美術館」の設置準備というお仕事がある。二つの港町が、美術で結ばれる日も近い。

★兵庫県立近代美術館

神戸市灘区原田通三一八一三〇

☎〇七八一八〇一一一五九一

阪急王子公園駅下車・国鉄灘駅下車

月曜日休館 午前十時～午後五時

(入館は午後四時半まで)